

37 植物染料の染色堅牢度について

名古屋市立女子短大 辻村 美津

1 植物染料の染色品はその色のもつゆかしさや深みが今なお一部の人々に愛好され手工芸の染色にはかなり用いられている。しかしその科学的な面については余り知られていないので、染色堅牢度についての試験を行った。

2 ①使用染料 蘇芳, 茜根, しぶき, 阿仙, 刈安, くちなし, うこん, きはだ, 丁字 ②使用媒染剤 灰汁, 明礬, 重クロム酸カリ, 硫酸銅, 硫酸第一鉄 ③使用繊維 絹, 木綿 ④試験方法 JIS 法により, 日光, 洗濯, 摩擦に対する堅牢度の試験を行った。

3 染料としては茜根, 渋木, 阿仙, 刈安は多少の例外を除いては共に日光, 洗濯, 摩擦に対する堅牢度が優れている。蘇芳はこれらの染料には見られぬ明るい華やかな色相であるが, 日光に対して弱い, しかしこれは二種類の媒染剤又は染料を併用することにより堅牢度を増

すことが出来た。又一種類を用いた場合よりも変化に富んだ美しい色相を得た。しかし蘇芳は洗濯の際の変色が著しい。媒染剤では全般に灰汁，明礬が日光に対して弱い，これも二種類の媒染剤を併用することにより堅牢度を増している。繊維では絹は木綿より全般に堅牢で染色効果も大である。